

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

February / 12 / 2016 # 35

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ・コンクール』

[2] Pepeのひとりごと

『響きと共に』

[3] おすすめ動画

『Arturo Sandoval Master Class Video #1 The Warm Up (Japanese sub)』

『Paul Creston: Fantasy for trombone』

[4] 演奏のヒント！

『抵抗のバランス』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ・コンクール』

昨日のことなのですが、京都で中・高生のソロ・コンクールの審査員をやらせていただきました。

僕の中学、高校時代と比べると、今は本当にたくさんのソロ・コンクールがあります。

挑戦できる機会が多いということは、本当にいいことだと思います！ :)

昨日もたくさんの参加者が精一杯の演奏を聴かせてくれました。

ソロ演奏というのは、中・高生にとってはある種の憧れでもあり、またとっても遠くの存在でもあると思います。

それにチャレンジした子たちは、それをしないと得られないなんとも説明のできない経験ができます。

その経験には、今後の楽器演奏、楽器練習だけでなく、これから生きていく上で役に立つことがたくさんあると思います。

まだソロ演奏を経験していない人、機会があれば今後はぜひ勇気を持ってチャレンジしてみてくださいね！！ :D

あ、最後に一つ。

ソロ・コンクールでの演奏を聴くと、レッスンを受けている人とそうでない人というのはすぐにわかります（わかりました）。

チャレンジするかしないかがまず第一選択肢ですが、もしチャレンジすると決めたのなら、まず自分の楽器の専門家のレッスンを受けてみることをオススメします。

自分が得る経験の奥行きが格段に広がります！

自分の近くに専門家がない・・・と思っている人は、近くの楽器店に相談に行ってみてください。

きっと親身になってサポート（先生の紹介など）してくれると思います。

[2] Pepeのひとりごと

『響きと共に』

今、自分の新しい楽器のセッティングが決まりつつあり、演奏することが今までにも増して楽しくなっています！ :D

楽器本体とスライドはもう決定だと思うので（まだ変更になる可能性はありはしますが、このままいくと思います）、あとは細かい詳細のみ。気になるだろうから書きますね（大したことではないからなおさら。笑）。あとは、ロータリー・ヴァルヴのキャップの選択だけとなる予定です。

新しい楽器、よく響いてとっても気持ちよく演奏できています！！

これからは、今まで以上に楽器自体の持つ響きをしっかり活かしながら演奏していこうと思っています。

実は、2012年秋にADAMSのEuphoniumを吹き始めた頃に、Euphoniumではこういう演奏スタイル（楽器の響きを十分に活かしての演奏スタイル）に

変わりました。

今回、Tromboneを買い替えるのを機に、Tromboneでの演奏スタイルもこのような形に変えようと思っています。

(前の楽器では楽器自体があまり響かなくなっていたので、やろうにもできませんでした)

Euphoniumでできているからといって、Tromboneでもできるとは限りません。Euphoniumでも、いつもそのように演奏できるようになるまでには少し時間がかかりました。なので、それはTromboneでも同じだと思っています。

まだまだ場面によってはうまくできないこともあるのですが、どんどんいろいろなものを吹いて早くいつもできるようになろうと思っています。 ;)

[3] おすすめ動画

『Arturo Sandoval Master Class Video #1 The Warm Up (Japanese sub)』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=MY5xobsNSz4&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

[v=MY5xobsNSz4&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6](https://www.youtube.com/watch?v=MY5xobsNSz4&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

今月1つ目の動画は、Trumpet界のスター、A.Sandoval氏の練習方法についてのものです。

日本語字幕があるからわかりやすいですね。

日本語字幕は、日本のチューバ奏者、木村圭太くんです。ブラヴォー！！ :D

『Paul Creston: Fantasy for trombone』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=3SCfx770hIA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

[v=3SCfx770hIA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3](https://www.youtube.com/watch?v=3SCfx770hIA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

2つ目の動画は、僕のハンガリー人の友人の1人、Robertの演奏しているP.Creston作曲の「Fantasy」です。

演奏は、彼の所属しているハンガリー放送交響楽団との共演です。

これは彼のCDにもたしか収録されていたと思います（そのCDからの音源だと思います）。

とても難しい曲なのに、とてもいい感じに演奏しています！ :D

この曲、好きな人が多いようなのですが、実は僕はあまり好きではありません・・・（笑）。

要求があればもちろん演奏はしますが、自分からは選ばないかなあ？？

みなさんは好きですか？ ;)

[4] 演奏のヒント！

『抵抗のバランス』

僕はこの「抵抗のバランス」を取るということを、もう10年以上（このことを聞いてからずっと）意識してやっています。たしか2001年（？）にオランダで開催されたITF(International Trombone Festival)でのマスタークラスでこのことを知りました。

抵抗のバランスを取る。

どういうことかというと、自分の吐く「外に出ようとする息」とその空気を「外に出させないようにしている唇」とのバランスを取るということです。

多くの管楽器奏者にとっては、「息を吐く」ということはよく意識することがあると思いますが、もうひとつ、反対側に存在している「息を出させないようにしている抵抗」については、あまりこのような感じで考えたことはないと思います。

言い換えると、
「吐く息と、それを阻止する唇とのバランス」
ですね。

このバランスを、どの音域でも音量でも50/50で保つことが大切になってきます。

実際にやってみるとかなり難しいことがわかると思います。これが演奏中にいつもできているか？と考えてみると、ほとんどできていない時もあったりします（泣）。

ここでポイントとなるのは、自分の唇を閉じることによって息を出させなくするための抵抗の作り方、保ち方です。

このバランスは、息を吐きながらでないと取れません。息を同じ圧力、量で吹き出し続けながら唇を閉じて抵抗を作り、そのバランスがずっと同じに保たれているのか、ということがポイントになります。

楽器で音を出しながらこのことを意識すると、金管楽器奏者の多くの方が、自分の唇の力で息の出るのを阻止している（唇を閉じている／閉じようとしている）のではなく、マウスピースに唇を当てることによって唇の上下がくっつき、結果的に抵抗を作ってしまうことに気づくと思います。

うまく自分の力（筋力）を使ってこの抵抗を作ることができれば、
バテにくくなると思います。

ぜひみなさん、やってみてくださいね！

編集後記

メールマガジンでも書いていましたが、今、新しい楽器（Trombone）
の買い替えのため楽器を選んだり、それに関する試奏をいろいろと
やっています。

たくさんの方に協力していただき、現時点でほぼ完成してきました！ :D
まだこれからオーケストラの中で演奏していき微調整をしていくこと
になると思いますが、今、とても充実しています！！

完成した時には、僕の楽器の仕様をここでは説明しようと思っています
（知りたい人なんていないかもしれませんが。笑）。
お楽しみに！！ :D

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com